

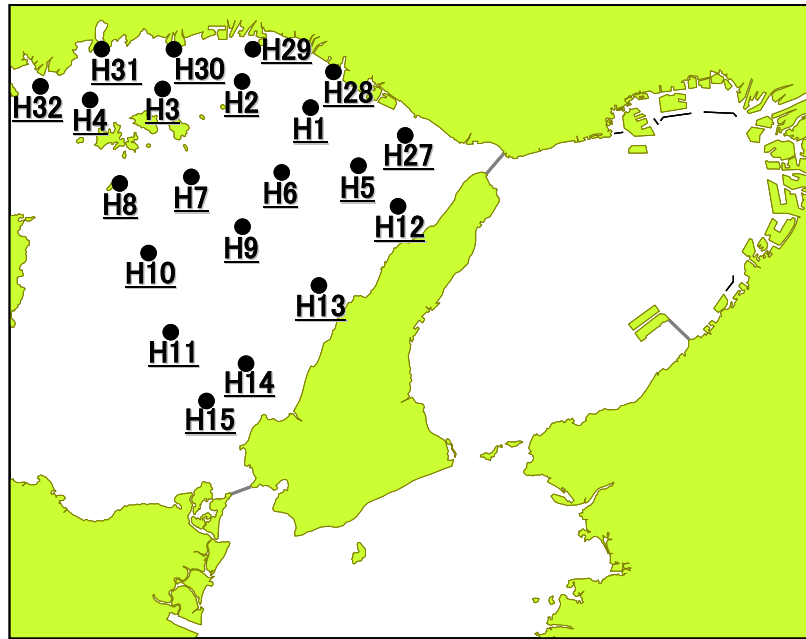
兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-03-23 号 (播磨灘全域)

令和3年8月5日発行

8月3~4日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域:定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

- 【概況】・北部を中心に魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ アンティカおよびマリーナ)が一部の地点で注意体制値を越えています。活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・赤潮発生中と発生後の溶存酸素の低下(酸欠)にもご注意ください。



シャットネラに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。

注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値
注意体制: 10細胞/ml 警戒体制: 100細胞/ml
 カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ
注意体制: 500細胞/ml 警戒体制: 5,000細胞/ml
 ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ
注意体制: 50細胞/ml 警戒体制: 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリリットルあたりの細胞数)

※H2, H28, H30, H31 は赤潮情報 AK-03-22 の調査データを再掲

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・カキタ	シャットネラ・カボサ	シャットネラ・ベキエロサ	コロネリウム・ポクロイダ	ヘテロカプサ・アカオ
H1	0	0	0	1	5	1	0	0	0
H2	0	0	0	21.3	8	1.3	0	0	0
H3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H5	0	0	1	1	0	0	0	0	0
H6	0	0	0	2	1	0	0	0	0
H7	0	0	0	12	3	2	0	0	0
H8	0	0	0	0	1	0	0	0	0
H9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H10	0	0	0	0	1	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H12	0	0	0	3	20	4	0	0	0
H13	0	0	0	0	8	1	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	1	1	0	0	0
H27	0	0	0	95	4	0	0	0	0
H28	0	0	0	2.0	2.7	1.3	0	0	0
H29	0	0	0	0	2	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0
H32	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・次回は8月10日に定期調査(播磨灘北部)を予定しています。調査結果がまとまり次第「赤潮情報 AK-03-24 号」としてお知らせします。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 妹背、中桐)
 Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <https://www.hyogo-suigi.jp/>